

「グランド再生可能エネルギー2018 国際会議」の発足式が開催されました。

2017年1月23日(月)、「グランド再生可能エネルギー2018 国際会議(略称:Grand RE2018 国際会議)」の発足式が、東京大学本郷キャンパス山上会館で開催されました。



(再生可能エネルギー協議会 理事長)

式の冒頭挨拶では、組織委員会の黒川浩助名誉組織委員長(再生可能エネルギー協議会理事長/RE2006 組織委員長、RE2010 及び RE2014 共同組織委員長)より、Grand RE2018 組織委員長として、荻本和彦特任教授(東京大学生産技術研究所エネルギー工学連携研究センター)を推薦したい旨の提案があり、全会一致で承認されました。



(東京大学 生産技術研究所 特任教授)

荻本委員長は、「Grand RE2018 では、再生可能エネルギーの普及拡大に立ちほだかる系統連系等のさまざまな技術的課題への解決策や、再生可能エネルギーを巡る最先端の技術開発動向を示したい」と挨拶しました。



経済産業省資源エネルギー庁
新エネルギー課長 山崎琢矢氏

来賓として、経済産業省資源エネルギー庁新エネルギー課長の山崎琢矢氏にご挨拶いただきました。山崎氏は、「2015年は再生可能エネルギー電気の設定容量が石炭火力を抜いたレコードイヤー。皆さんの力で、2018年の国際会議では、コスト競争力ある再生可能エネルギーの最新動向を国内外にアピールしてほしい」と励ましのお言葉をいただきました。

また、特別顧問の柏木孝夫東京工業大学特命教授は「これからはマクログリッドなどデマンドサイドの改革をする必要がある。地産地消の時代に向けてイノベーションが重要だ」と述べられました。この他、組織委員会、及びプログラム委員会の共同委員長と副委員長らから挨拶が行われ、各々の決意が述べられました。2018年6月17日(日) Grand RE2018 国際会議の開幕に向けて、いよいよ始動しました！

GRE2018 国際会議 広報委員会委員長 松本真由美：著



グランド再生可能エネルギー国際会議 2018 組織委員会発足式

